

竹田圭吾さん

1993年から国際ニュース週刊誌「ニュースウィーク日本版」編集部で、国際情勢、アジア経済、社会問題などを取材。編集長を経て、現在はニュースウィーク日本版別冊編集部長。フジテレビ系「情報プレゼンター とくダネ!」のレギュラーコメンテーターなどで分かりやすい解説に定評がある

竹田さん流

ニュースの見方3カ条

① 「あからない」ニュースは無理に結論を出さず、そのまま「あからない」と受け止める

② あからないからこそ、1つのニュースソースだけではなく、いろんな情報のルートを用意

③ そのニュースは、「白か黒か」「それとも、グレーか」、個別に自分自身で考えて判断する

知らぬじではすまされぬか?



# ニュースのプロが読者の疑問にお答え 世界のニュース 私たちの生活にも 影響が!?

世界的に経済状況などが不透明な今、気になるニュースキーワードをピックアップ。私たちの生活にどんな影響を与えるのか、ニュースの読み解き方などを、ニュースウィーク日本版別冊編集部長の竹田圭吾さんに解説してもらいました。

## ギリシャ危機

ギリシャが厳しい財政赤字に。デフォルト(債務不履行)の可能性も

Q なぜ一国のことがこんなに問題に?

A ギリシャ国債を持つ銀行やEU、さらに世界全体に影響する可能性が

ギリシャはEU(欧州連合)に加盟しており、ドイツなどほかの加盟国はギリシャがデフォルトにならないように支援をしてきました。もしデフォルトになると、ギリシャ国債を大量に保有する欧州の銀行などに悪影響が出たり、国の借金が問題となっているイタリアをはじめ借金が多いといわれる総称「PIIGS(ポルトガル、イタリア、アイルランド、ギリシャ、スペイン)」も厳しい状況になる可能性が。欧州全体、さらには世界に影響が出る可能性があるのです。

Q 私たちのお金にも影響がある?

A ユーロやドルへの不安から円高に

今日本は円高ですが、理由のひとつはユーロやドルなど、ほかの通貨への不安から、逃げ場を求めたお金が円に流れ込んだから。相対的に円高になっているだけで、この先、円が暴落する可能性もなくはありません。経済の不確実性が高まっている今、常に「数カ月後はどうなるか分からない」としておく必要が。資産を運用するときは、リスク分散するなどの対策を考えるほうがいいでしょう。

## 復興増税

東日本大震災の復興財源は約19兆円といわれ、内10兆円程度が増税で賄われることになりそう

Q なぜ増税するの?

A 国の借金を少しでも増やさないため

現在900兆円以上ある国の借金。復興財源に充てるため、復興債なども発行されますが、国の借金を少しでも増やさないために所得税、住民税、法人税などの一定期間増税が検討されています。私たちの家計の負担が増えるだけに、「国の無駄遣いはないのか」「世界経済がよくないときに増税すべきか」という議論も。しかし一方で、復興のための大規模な公共事業が雇用の創出につながるという利点も考えられます。経済にとって一番悪い状態は「お金が動かないこと」。税金も含め約19兆円が動くことで経済は循環し、特需になることも予測されます。

## TPP (環太平洋経済連携協定)

太平洋周辺の国々の間で、ヒト、モノ、サービス、お金の移動をほぼ完全に自由にしようという国際協定。シンガポール、ブルネイ、チリ、ニュージーランドの4カ国でスタート。現在アメリカなどが加入交渉中

Q 関税がなくなると、私たちに影響は?

A 安い輸入品が手に入るがデメリットも

これまで「多くの国でまとめて貿易のルールを決めよう」という取り組みがされましたが、なかなかうまくいきませんでした。そこで最近注目されているのが「FTA(自由貿易協定)」や「TPP」です。FTAは、2国間で行うことが多くあります。それに対し、「限定されたエリアで貿易のルールを決めよう」というものが、TPPです。日本がTPPに参加したとき、産業にもたらす影響はさまざまですが、消費者にとってメリットも。その一つは、関税がなくなることによって、輸入品が安く手に入ることですが、安全面に不安もあります。また、安い農産品が輸入されることによる農家への打撃なども考えられます。一方、日本からの輸出については関税がなくなるわけですから、加盟国に日本の製品を買ってもらう機会が増える可能性もあります。



私たちの生活は、つが加ってしるのね

なるほど、そうじゃあ、そうね